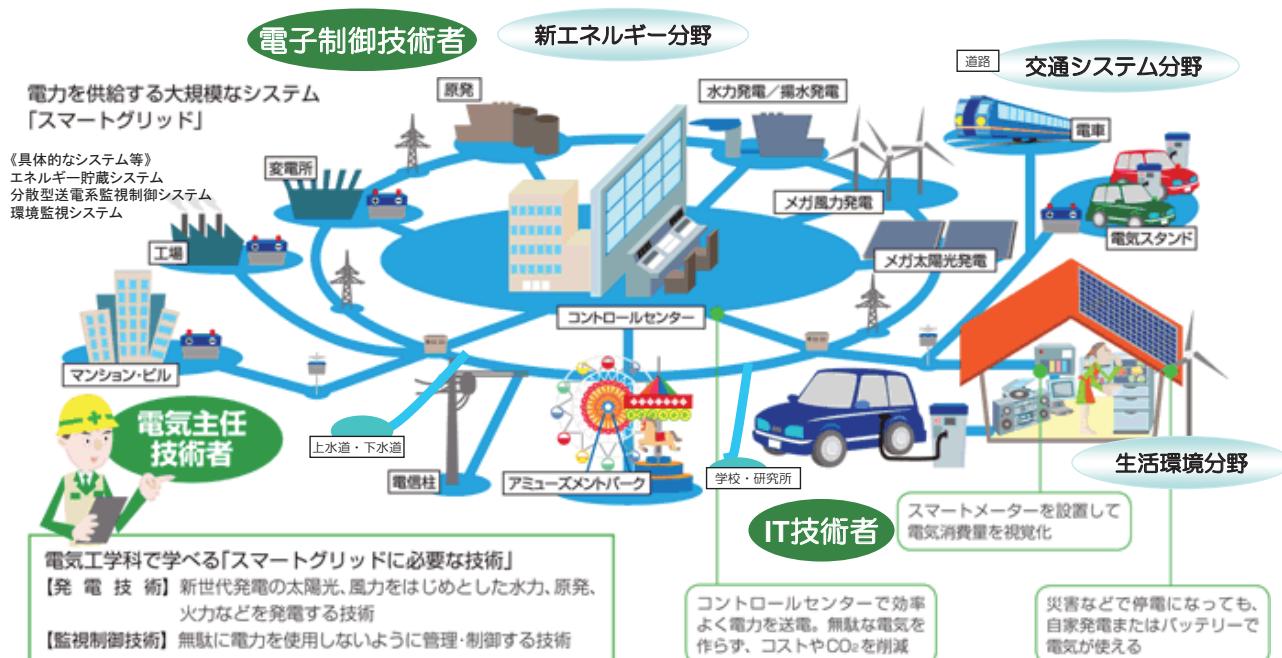


(参考) 再生可能エネルギー、スマートグリッド分野における技術者養成に向けた取組(例)

太陽光発電をはじめとした発電技術や、IT技術を利用した需給双方の電力を供給するシステムである、新たな次世代電力網「スマートグリッド」構築に必要な技術者を育成するため、①短期人材育成コース(電気工事士等の資格を有する社会人向け再生可能エネルギー等)を複数校で試験導入、②スマートグリッド導入に対応する新たに必要な電気制御システム構築や環境ビジネスに必要な高度な知識・技術を修得する中長期的な人材育成コースの開発・実証を支援。



-130-

(参考)福島の安心・安全に貢献できる人材育成(例) 【放射線工学分野】

大気、土壤、食物等の放射線測定に必要な正確なデータ解析・分析を行う専門人材を育成。

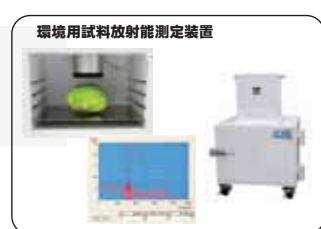
行政・医療機関・大学等と連携し、地域の安全・安心を確保する取組を実施。

《教育の内容》

- ◇土壤・食品用放射線測定機器や各種サーベイメータ等機器を教材として実習。
- ◇放射線に関する正しい知識の習得と放射線測定の実務及び装置の取り扱いや安全管理の能力(「放射線取り扱い主任者」国家資格の取得)
- ◇電気工事に関するカリキュラムも導入
- （電気工事士・危険物取扱者等関連資格の取得）
- 《附帯事業》
- ◇放射線計測関係機器の導入による、地域における検査協力
- ◇土壤・食品等の検査による情報発信



- 《活躍の場》**
- ・放射線測定機器メーカー・商社・代理店
 - ・自治体等公的機関
 - ・建設業界
 - ・電気設備関連企業
 - ・産業廃棄物関連企業
 - 他



(参考)エコツーリズム&ケリーツーリズムによる復興に必要な人材育成(例) 【観光・食・農林水産業分野】

岩手から福島までの南北をつなぐ自然歩道を軸に、東北の資源(自然、郷土料理、伝統芸能・工芸、漁業・農業体験等)を活用した観光振興や、水産加工業の復興を担う専門人材を育成。

《南北をつなぐ自然歩道(福島県相馬市松川浦～八戸市蕪島)》

- ◇沿岸の自然と生活・産業・文化をつなぐ
- ◇災害時には、住民や観光客の防災経路として活用
- ◇津波の経験を語り継ぐ被災の記録・学びの場

→「歩く」+α(観光資源) の提供!!

【観光資源】

- ・郷土料理(食べる)
- ・郷土料理(作る)
- ・伝統芸能・工芸
- ・漁業体験
- ・農業体験 etc.



農業漁業観光人材・食農ビジネス人材(6次産業人材)の育成

三陸復興国立公園 長距離遊歩道

雇用対策

観光資源 (地元水産物を使用した郷土料理等)

宿場



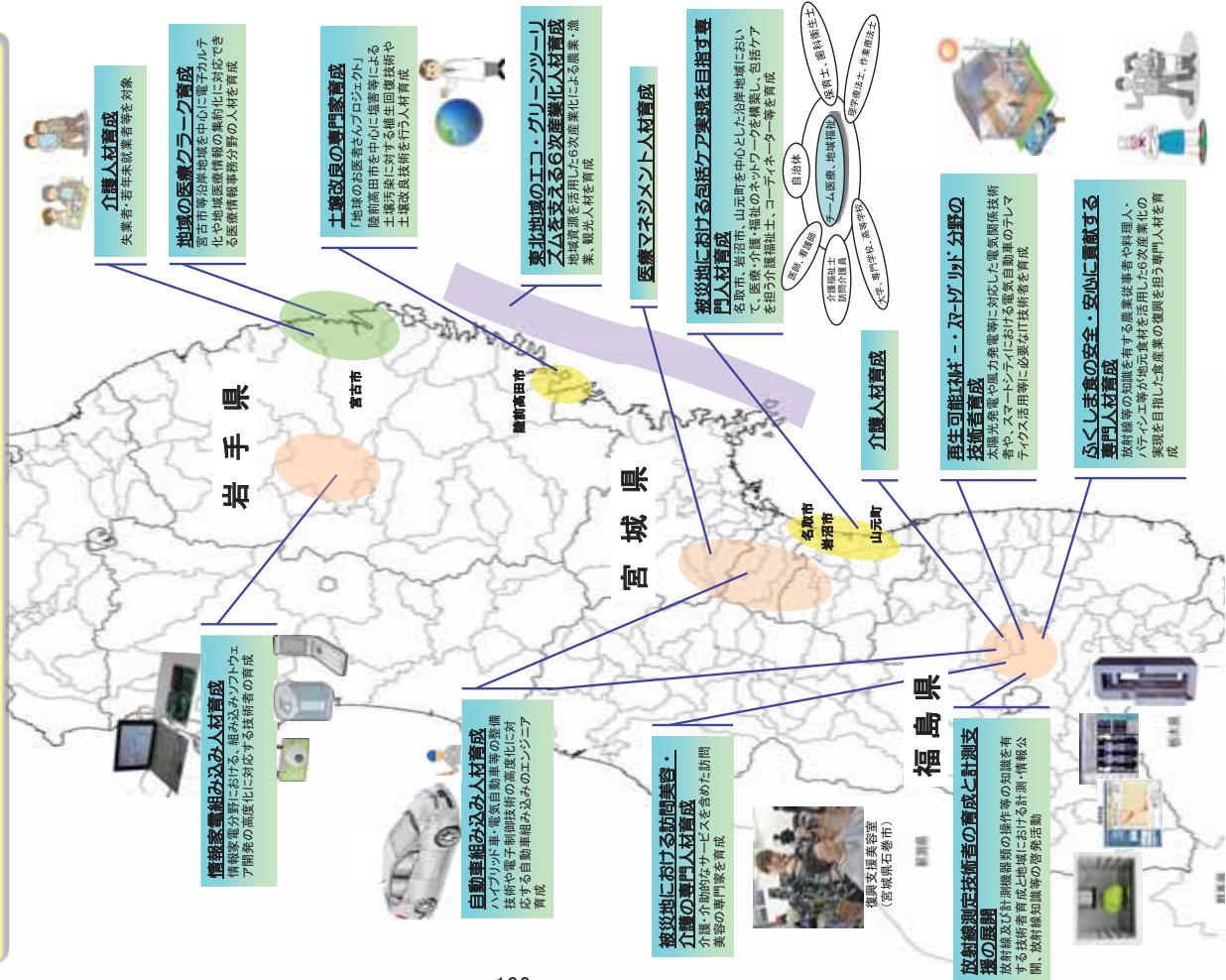
《活躍の場》

- ・道の駅(農産物販売、工芸品販売)
- ・農家レストラン(地産地消:山の幸・里の幸)
- ・漁師レストラン(地産地消:海の幸)
- ・郷土料理教室(料理体験)
- ・民宿(宿泊)
- ・体験交流館(農業体験、漁業体験) 他

全国の教育機関、産業界等の力を結集して被災地に復興を担う専門人材を育成

～東日本大震災からの復旧・復興を担う専門人材育成支援事業～

震災により大きくなり変化した被災地の人材ニーズに対応し、復旧・復興の即戦力となる専門人材の育成及び地元への定着を図るために、全国の地域の学校・企業・関係団体の協力を得ながら専門人材を育成する取組を支援。



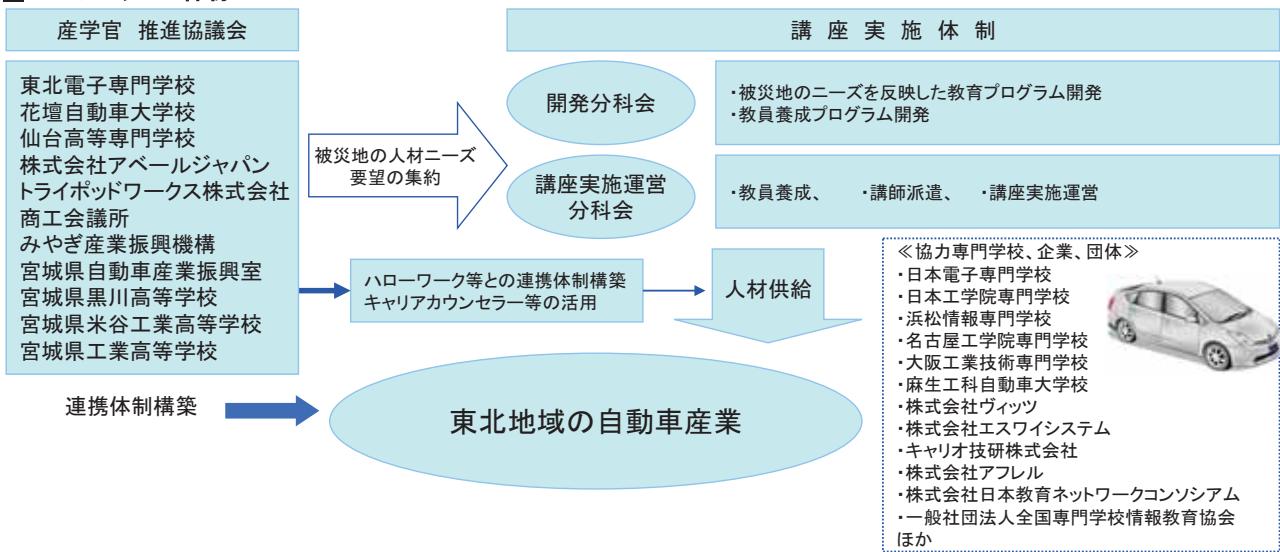
-132-

東日本大震災からの復旧・復興を担う専門人材育成支援事業(自動車組込み系分野例)

趣旨

東北地方は、自動車産業の集積が進み国内第3の拠点として、その役割を期待されている。本事業は、产学が連携し、今後の東北地方自動車組込み産業における復興の即戦力となる人材育成のための講座を開設実施する。実施にあたり、产学官による推進協議会を組織し、被災地の人材ニーズを把握するとともにこれまでの教育プログラムをカスタマイズして、学生や離職者の学び直し等に対応した教育カリキュラム開発及び教員養成を行う。講座実施運営については、他地域にある企業、専門学校等に協力を要請し、講座の円滑な運営を図る。

■プロジェクト全体像



■実施要項

- ・被災地の人材ニーズの把握
- ・教員の養成
- ・教育プログラムのカスタマイズ
- ・人材育成講座の実施、検証

-133-